

平成19年12月26日

海事産業の次世代人材育成推進会議「平成19年度行動計画」のポイント

1 「30万人の海体験」の推進

構成メンバーが連携・分担し、全国で30万人の青少年を対象とした体験型イベントを展開する「30万人の海体験」の推進を図る(具体的なイベントの内容は、帆船等練習船の体験乗船、造船所や船の見学、海洋レクリエーション体験、シンポジウム、講演会、展示会等)。

2 平成19年度において新たに実施する事項

(1) 海の仕事に関する総合情報提供窓口の設置

- ① 青少年を対象として、海の仕事に関する総合情報提供窓口となるポータルサイト(仮称「海の仕事.com」)を設置。20年度のできる限り早い時期に運用を開始する。
- ② 海の仕事の具体的なイメージを伝えるためのパンフレット、ウェブ上のコンテンツ等を関係団体が制作し、ポータルサイトにリンクさせる。
- ③ 当面、構成メンバーが現在有する広報素材のリストを作成・公開する。

(2) 教育関係者への働きかけ

- ① 地域レベルで教育関係者への働きかけを行い、海や海事産業に関する体験学習の機会を増やす。この際、(1)のポータルサイト(当面は広報素材リスト)を活用して情報を提供する。
- ② 海・海事産業についての教科書への記述や体験学習の充実に関し、連携して文部科学省に働きかけを行う。

(3) 連携事業の推進

- ① 練習帆船を広報に最大限活用するためのガイドラインを作成・実施し、寄港要請した自治体と連携を強化して連携事業の展開、広報の強化等を図る。
- ② 以下の新たな連携事業を推進する。
 - ・ 海技教育財団(主催)とブルーシー・アンド・グリーンランド財団による練習帆船の体験航海
 - ・ 海技教育財団(主催)と日本海洋少年団連盟との連携による海洋教室での練習帆船の活用
 - ・ B&G体験クルーズ(小・中学生対象)における船員の仕事の紹介

(4) 国の参画による新たな人材育成・海事広報関係事業

「海の日」・「海の月間」関連事業、海事地域人材確保連携事業及び海洋環境立国を支える人材育成支援事業について、平成20年度新規実施に向け準備を進める。